

が史観の有力努力に、本年八月廿日迄に申込金高は於て、一千万五千三百八円拾叁銭、共、領収金高は九百八拾五万七拾銭と成つた。然し此、成績は全組合員、夏組總額八百万、一級寄附金五万圓總計拾八万圓の計畫に比して、決して好成績とはいへない。我々組合の成績を見るに、其の如く稍々良好と言ふに過ぎず、未だ寄附の申込に至らざる支那の千數の労働組合の必要を感ぜ如何なる組合が、より労働階級の廣く、味方となり、莫に力強き組合なるかを考察し、之を求めむに急務の時、八分の一労働組合合法、制定を要求しつゝ、ある時、省つて我々の本城に於て、本邦建築物の兄弟の時、真心に堪へざるものがある。今組合員諸君の努力を俟つて、一日も遅く本事業の進取を切希して、角心提案して、次第である。

次 議

我々の本城に於て日本建築組合建設者集集運動は善く進歩して、去り上雖も、其の本城に於て時多し解決せざるものがある。我々建築者組合は昭和四年度大会に、全組合員が此中から努力を盡し、以て、建築者の進取を成せし事と期す。

具 休 決 定

一 米甲近支部は十月廿日迄に申込手續を完了せしむるべし。

二 本支部は基金募集救済の組織し、階級道徳を犯す者範圍に於て一級より寄附金の募集すること。
 三 在支部、有力各支部一名以上、委員を選出し、位進委員会を組織すること。

四 政 事 部 充 員 に 関 する 件
 大崎第大支部 提案
 以上

理 由 省 略 不 其、具 体

一 本邦調査部と共し、組合員各籍に位階別を整理すること。
 二 整理のいたる名簿により、組合員を其、所属すべき社会主義党の支部及分会に紹介すること。
 三 本党と南東同盟大会に提案すること。

五 日 本 民 衆 新 報 購 讀 に 関 する 件
 大崎第大支部 提案

理 由

日本民衆新報は昨年一月社会主義を標榜して、社会主義党、主義政黨、社会主義に知らしむるが爲め、且又現況主義宣傳の爲め、北のどろろ、其の如く、労働者同盟、組合員、一頁とし、去る一般労働大衆に、我が終同盟、現況主義、立場を充分に理解せしめ、尚社会主義政策をも理解せしむる必要を痛感するが故に、本党を提出するものである。

具 体 方 法

(3)